

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒小学校 ）



実施日 及び 実施期間	平成 29 年 11 月 1 日（水）～11 月 30 日（木）
実施内容	タイトル「本との新しい出会い 本をたくさん読もう」 ■ 全国読書週間に合わせ、生駒小学校では 11 月を「読書月間」と位置付け子ども達に読書を奨励している。（本年度 11 月 1 日～11 月 30 日） ■ 図書委員会の取組 ①「わくわく読書カード」の活用 低学年用（1～3 年）高学年用（4 年～6 年）の 2 種類のカードを作成する。低学年 5 冊、高学年 7 冊読破の奨励を行う。高学年には、図書分類 1～9 各分野の本を読むことの奨励も合わせて行う。 ②「おはなし会」開催 学校司書さんとの連携 読書月間に合わせて、新刊本が多く配架されているので、「ブックトーク」も含めて、低学年 2 回高学年 2 回昼休みに実施。 ③「手作りしおり」プレゼント より多くのみんなに本を読んでもらうため、読書月間最終日に図書委員会から「全校一人一枚」しおりをプレゼントすることにした。図書委員会の児童が自らしおりのイラスト・キャッチフレーズを作成し読書推進にはたらきかけた。 ■ 絵本のひろば開催予定(11 月 27 日～12 月 1 日) 今年初めての取り組みとして「絵本のひろば」を開催する。面展台上に表紙を見せて並べる。児童は自由に絵本を手に取り、絵本を楽しむ。
児童生徒の様子	・「読書月間」の「手作りしおり」は、毎年図書委員会が取組み、図書委員会が本への関心を高めてもらうようそれぞれ絵を工夫して作り上げている。全校の子ども達もとても楽しみにしてくれている様子である。 ・「読書月間」中のお話会は、高学年は約 60 人近くの子どもたちに参加し、低学年も 50 人近くの子どもたちが参加していた。委員会の子ども達も、大いにやりがいを感じ、活動の内容の工夫に対する意欲づけにもなった。 ・児童たちは、たくさん本を読もうと「わくわく読書カード」に読んだ本をどんどん書いていく姿が見られた。
取組後の変容 (子ども・家庭・教師)	・絵本のひろばが開催されたことにより、絵本の面白さを再認識した児童も多くいた。 ・図書ボランティアさんや生駒市の小学校の先生方にも新しい取り組みとして知っていただく良い機会となった。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒南小学校 ）



実施日 及び
実施期間

平成 29 年 10 月 27 日（金）～11 月 30 日（木）

実施内容

タイトル「南小ブックフェスタ」

●図書委員会の活動

- ・全校朝会とポスターで読書週間についてお知らせ
- ・読書ビンゴ(10/27～11/2 中学年 11/6～10 低学年 11/20～27 高学年) ビンゴできた児童には今年新たにできた図書室キャラクターつきの葉をプレゼントする予定。

- ・読書タイムに 3～6 年の各クラスへ出張読み聞かせ
- ・南小図書室のキャラクター募集
募集したキャラクターは図書室前に掲示。図書委員の投票でキャラクターを決定し、以後、図書室の掲示などの場面で活躍する予定。

●教師の活動

- ・低学年を中心に、読書タイムに担任による読み聞かせ（年間）
- ・先生方のおすすめの本コーナーを設置

●保護者の方による読み聞かせボランティア

- ・読書タイムに各クラスでの読み聞かせ（年間）

●図書館司書の活動

- ・図書の時間に読み聞かせ（低学年）
- ・図書室だよりの発行
- ・図書室の環境整備



児童生徒の様子

- ・図書委員会の児童が、全校朝会やポスターで宣伝をしたり、読み聞かせに行ったりして、全校児童に「秋の読書週間」という意識づけができていた。
- ・ビンゴをめざして、普段あまり図書室に来ない児童も来てくれるようになった。
- ・担任の先生やよく知っている先生のおすすめの本を手にとる姿があった。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

- ・読書ビンゴに取り組んだことで、分類番号の順に本が並んでいるということが意識できた。また、普段の読書ではジャンルが偏りがちな児童も、ビンゴをめざしていろいろな本を手に取り、楽しさ面白さを発見できたようだ。
- ・図書館司書の先生が、子どもたちに本の楽しさを教えてくれることで、本をあまり読まなかった児童が本を手にとり、「これなら読んでみたい」と感じるようになった。

備考

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（生駒北小学校・生駒北中学校）



実施日 及び
実施期間

平成 29 年 10 月 30 日（火）～11 月 28 日（火）

実施内容

タイトル「みんなで楽しむ読書週間」

- ・読書週間中、小学生 2 冊・中学生 3 冊貸し出しを実施。
- ・北小図書委員によるおはなし会と図書〇×クイズ、しおり作り
11/2(木) おはなし会 昼休み 場所：図書室
手遊び『しゃくとりむし』
紙芝居『いっきゅうさん』
11/9(水) 図書〇×クイズ 全校集会後 場所：体育館
11/21(火) しおり作り 昼休み 場所：図書室
- ・生駒市図書館司書さんによる出前おはなし会 11/28(火)予定 対象小学 2 年生
- ・北小図書委員が選書した本の展示と貸出。
- ・生駒北中の図書委員が小学生へおすすめ本の帯を作り、本とともに展示。
- ・読書週間期間中、中学生にはしおりをプレゼント。



児童生徒の様子

- 児童は読書週間の 2 冊貸し出しをいつも楽しみにしている。おはなし会としおり作りも楽しんだ。子どもたちはクイズが大好きで、図書〇×クイズは全校集会後に全員で楽しむことができた。
- 図書委員はポスター製作や案内放送のアナウンスなど役割分担し、全員で「ブックフェスティバル」に取り組むことができた。
- 北中図書委員は小学生におすすめ本の帯を作成し、紹介するために本をじっくり読み返す子もいた。小学生も「北中生のおすすめ本」の帯を興味深く読み、貸し出しを希望する児童もいた。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

「次の 2 冊貸し出しはいつですか？いつも 2 冊貸し出ししてほしい。」という声が多かった。図書〇×クイズの答えを確認するために出題された絵本を探して読んでいた。中学生は期間中にライトノベルのリクエストが数多く寄せられ、内容と蔵書の配分を考えて検討したい。

備考



「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒台小学校 ）



実施日 及び
実施期間

平成 29 年 11 月 9 日（木）～11 月 15 日（水）

実施内容

タイトル「環境の本を読もう！」

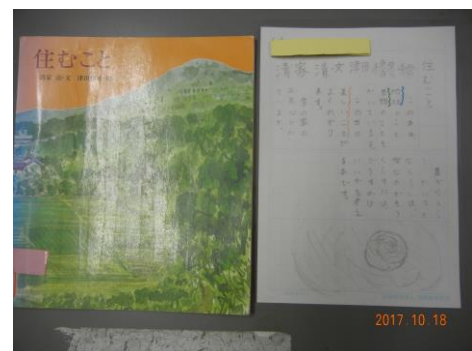
生駒台小学校は、環境への取り組みを進めています。図書委員会では、環境に関する本を集めて環境コーナーを作りました。‘読書の秋’のこの時期に、たくさんある環境の本をもっと読んでもらえるように、図書委員が考えました。

【紹介ポップ】

図書委員が環境に関する本の中から『おすすめの本』を選び、紹介文を書きました。それを、それぞれの本の裏表紙に張りつけました。

【クイズ】

環境の本の内容からクイズを作り、全校のみんなに答えてもらいました。正解者には、手作りしおりをプレゼントしました。



児童生徒の様子

クイズの正解を探すために、数冊ある本を隅々まで読んでいました。友達同士で本を読みながら、「これが答えかな。」「次のページも読んでみよう。」などと話す姿も見られました。また、クイズに答えて、しおりをもらおうとガッツポーズをして喜ぶ児童もいました。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

低学年の児童の中には、今まで知らなかった「グリーンマーク」や「緑のカーテン」についてページをめくりながら調べる子もいました。
図書室にある環境の本を通して、環境に興味を持つきっかけとなればよいと願っています。



備考

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒東小学校 ）



実施日 及び 実施期間	平成 29 年 10 月 27 日（金）～11 月 9 日（木）
実施内容	タイトル「読書好きの児童を育てるために」 ① 読書についての話（11月9日） クラスの中で、教師が児童に読書の大切さについて話を行った。 ② 図書委員からの呼びかけ（10月27日） 図書委員の児童から給食の時間を利用して、購入してほしい図書のアンケートの結果を放送した。（1年から6年） ③ お話会（11月1日） 20分休みに低学年図書室で、学校司書による絵本の読み聞かせを行った。 ④ 人形劇（10月30日） 30分休みに多目的室で、地域の方による人形劇を行った。 ⑤ 読書タイムの利用 掃除時間の後の10分間を利用して読書タイムを行っている。自分が読みたい本を選び、毎日読書する習慣を身につけている。この時間を利用することで、読書に親しみ、読書が楽しいと思える児童を増やすようにしている。
児童生徒の様子	・朝の空き時間や休み時間を利用して児童が自ら図書室を利用する姿が多く見られる。また、クラスでも図書室を利用し、読書に興味を持っている児童が多い。 ・読書タイムには図書室で借りた本や学級文庫など、自分が読みたいと思った本を選び10分間集中して読む姿が見られている。 ・20分休みのお話会には、低学年の児童を中心に参加する児童が多くいた。楽しみながら話を聞いている姿が見られた。
取組後の変容 (子ども・家庭・教師)	普段自分で活字を読むことが苦手な児童にとっては、絵本の読み聞かせや人形劇などの機会があれば、楽しみながらお話に親しめるということを改めて感じた。また、本の貸し出しを二冊にすることで、いつもはあまり手に取らない本に挑戦し、読書の幅も広がった児童もあったようである。
備考	

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 真弓小学校 ）



実施日 及び
実施期間

平成 29 年 10 月 4 日（水）～11 月 13 日（月）

実施内容

タイトル「本読もキャンペーン」

図書委員会の活動を中心に約 1 か月間キャンペーンを行った。

◎本の感想を用紙に書いてもらい、書いた枚数や内容によって葉を渡すことにした。

①図書委員会から、「本読もキャンペーン」について、全校朝会で連絡する。

②図書委員会児童がそれぞれ、みんなに喜んでもらえるような葉を作る。

③本を読んだ人は、図書室カウンターで感想メモをもらい、感想を書く。

④書いたメモをポストに入れる。図書委員はそれを廊下の模造紙に貼る。

⑤図書委員会で感想メモを読み、参加枚数や内容によって、葉をプレゼントする子を決める。葉は図書便りを各クラスに配布する際、一緒に渡す。



児童生徒の様子

低学年・中学年が積極的に参加していた。

高学年は数こそ少なめであったが、びっしりと記入した力作が多かった。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

図書室廊下に貼り出してあったので休み時間に子どもたちどうして話題となり、本を選ぶ参考になっていた。

備考

- ・読書週間のタイミングに合わせて新しく入った本を紹介した。
- ・学校司書による低学年への読み聞かせを行った。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 俵口小学校 ）



実施日 及び
実施期間

平成 29 年 10 月 27 日（金）～11 月 9 日（木）

実施内容

タイトル「本に恋する季節です」



本校では、10 月の全校朝会で、一学期から準備してきた俵口小学校ビブリオバトルを行い、図書委員全員が 1 冊ずつ本を選び、どこがおすすめかを発表した。また、読書週間のお知らせと図書室からのおねがいを伝えた。紹介した本は、すぐに借りていかれ、ビブリオで紹介した

本のコーナーがしばらくがら空きになる。読書週間中のお昼休みに司書がおはなし会をひらいて、大型絵本や紙芝居を手遊びや簡単な本紹介を兼ねたクイズをして図書室や本に親しむ場にした。



今年は、読書週間の期間中にたくさん本を借りた上位の人に、図書委員手作りのメダルをプレゼントすることになり、委員会や当番の日に少しずつ楽しんで作成している。読書週間後に配布予定である。



児童生徒の様子



2 冊貸出が楽しみで低学年も、読みたい本を懸命にさがす。中学年も読書の秋だからとオススメの本を司書に聞きにきたり、互いに紹介したりしている。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

全校朝会で、図書委員会から全校児童に向けて本の紹介ができるので、読書週間が定着し、先を争って本探し、新しい本のコーナー、ふくちゃん新聞の紹介本コーナーなどにも注目しながら、いろいろな本を借りている。

備考

「俵小ビブリオバトル」の様子は、俵口小学校HPでも紹介している。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 鹿ノ台小学校 ）



実施日 及び
実施期間

平成 29 年 10 月 27 日（金）～11 月 9 日（木）

実施内容

タイトル「鹿ノ台小学校読書週間」

○「朝の読書」教師による読み聞かせ会

11／6（月）

8：30～8：45

読書週間の後半になりましたが、教師が担任以外のクラスで読み聞かせを行った。担当になったクラスの子どもたちにあった本を学校司書が選書した本の中から選び読み聞かせを中心に本にまつわる思い出などを話した。



児童生徒の様子

子どもたちは、「担任以外の教師による読み聞かせ」と聞いているため、いつもより、静かに集中して読み聞かせを聞いていた。それに、普段できない交流ができ、特別支援学級や専科の先生、管理職の先生にも読み聞かせをしていただいたことで、子どもたちは目を輝かせて大変楽しそうに聞いていた。静かに作品の世界に浸り、物語の世界を楽しんだり、教師とともに読んだりして有意義な時間であった。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

例年の取り組みではあるが、子どもたちにとって認知される行事になってきた。1年生は、初めての体験であったが、普段関わることの少ない他学年の教師とのつながりをつくることができ、新鮮な空気感が広がる時間であった。教師にとっても、年に一回の「読み聞かせ会」が定着し、本を選んだり読んだりする楽しさが増しているように思う。

備考

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ **桜ヶ丘小学校** ）



実施日 及び
実施期間

平成 29 年 11 月 1 日（水）～

実施内容



タイトル「読書の秋キャンペーン」



11 月の朝の集いで、図書委員会から「読書の秋キャンペーン」のお知らせをした。

「読書の秋」にちなんで、自分の好きな本、みんなにおすすめの本を、本の紹介カードに書いてもらった。全校児童分が集まったので

図書室前の掲示板に掲示している。こうして、おすすめの本を全校で共有することができる。

図書室に「読書の秋」の飾り付け、校内には読書週間のポスターを掲示して、読書週間の環境を整えた。

読書週間にあわせて新しい本のコーナーを作り、図書室前廊下には本のカバーを掲示して紹介している。新たな本との出会いの場とした。



児童生徒の様子



本の紹介カードを書いた。おすすめの本の題名、高学年はあらすじやおもしろかったところを書いている。カードにぎっしり書き込んだ子もいる。国語で今勉強している作品を書いた子や、読書週間に買った新しい本を、早速書いた子もいる。

（1年生：どんぐり、2年生：ハート、3年生：葉っぱ、4年生：もみじ、5年生：うさぎ、6年生：りす）

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

今年も、掲示板に紹介カードが少しずつ掲示され始めると、足を止めて眺めている。初めて参加した1年生は、掲示板に何ができるか興味津々で見ている。自分のカードを見つけると、うれしそうにしている。兄弟姉妹や友だちのカードも探している。「読書の秋キャンペーン」は、子ども達と本とをつなげる取組となっている。

備考

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ あすか野小学校 ）



実施日 及び
実施期間

平成 29 年 10 月 16 日（月）～11 月 27 日（月）

実施内容

タイトル「絵本の読み聞かせ（いつもと違う先生がやってきた！！）」

実施日 10 月 16 日（月）、11 月 27 日（月）の朝の学習の時間 15 分間を利用して、担任以外の教師が 1 ～ 6 年の教室に出向き、本や紙芝居の読み聞かせやブックトークを行った。本は読み聞かせをする教師が自分のお気に入りのものを自由選んだ。



（本の一例）

やさいのおなか
おまえ、うまそうだな
だじゃれ日本一周
お父さんへの千羽鶴



児童生徒の様子

普段関わりのない他学年の教師による読み聞かせに、子どもたちは緊張しながらもお話の内容に聞き入っていた。それぞれ学年に合った本を選んでいたので、内容にも親しめ、本に対する関心が高まったと思われる。

取組後の変容
（子ども・家庭・教師）

読み聞かせ実施後、図書室で同じ本を探して読んだり、同じシリーズの本を探したりする子どもの様子が見られ、様々な本への関心が高まったように感じた。また図書室を利用する子どもも増えた。

備考

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 壱分小学校 ）



実施日 及び
実施期間

平成 29 年 11 月 2 日（木）～11 月 30 日（木）

実施内容

「本をかりよう！好きな本総選挙とリクエスト」

読書週間をきっかけに、全校のみんなにもっと本に親しんでもらうためにはどんなことをすればいいだろうかと図書委員会で話し合い、3つのことが決まった。

① 2冊貸し出し（11月2日～11月30日）

普段、図書室での本は1人1冊の貸し出しであるが、より本に親しんでもらうために1人2冊の貸し出しを約1か月間実施する。お知らせのポスターも作成して配ったり、放送でも呼びかけたりして全校児童に知らせる。また、期間中に借りた本の冊数をクラスごとに集計し、手作りの賞状を全クラスに渡す。

② 好きな本総選挙（11月2日～11月15日）

低・中・高学年ごとに、週3回来られている学校司書の先生が選ばれた10冊の本の中から自分が好きな本の番号を書いて投票する。結果は集計して発表する。

③ 図書室に置いてほしい本のリクエスト（11月16日～11月30日）

「図書室にこんな本を置いてほしい。」「1冊だけでなくもっとあったらいいな。」など、本のリクエストを全児童対象に書いてもらえるようにする。リクエストを書く紙には、本の題名、〇〇関係の本といったジャンルを書いてもらう。それを投函するための手作りポストを用意して図書室のカウンター横に置き、投函してもらう。

児童生徒の様子

読書週間の2週間くらい前から予告のポスターをはったり、10月末と11月2日の2回放送を入れたりしたので、みんな楽しみにしてくれていた。「2冊借りてもいいんですね。」「まだ2冊貸し出し大丈夫ですか？」と尋ねる児童も多く、図書室へ行くのを喜んでいた。休み時間になると、すぐに「行こう」と、好きな本総選挙の投票をしに行く姿も何度も見られた。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

本は1週間で返すきまりになっているため、2冊借りた児童は、普段以上に集中して朝の読書の時間や空き時間に読書していた。普段あまり足を運ばない児童も休み時間に図書室に来ていた。好きな本総選挙に出している本に興味をもって、「読んでみよう」と借りていく児童もいた。



「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒南第二小学校 ）



実施日 及び
実施期間

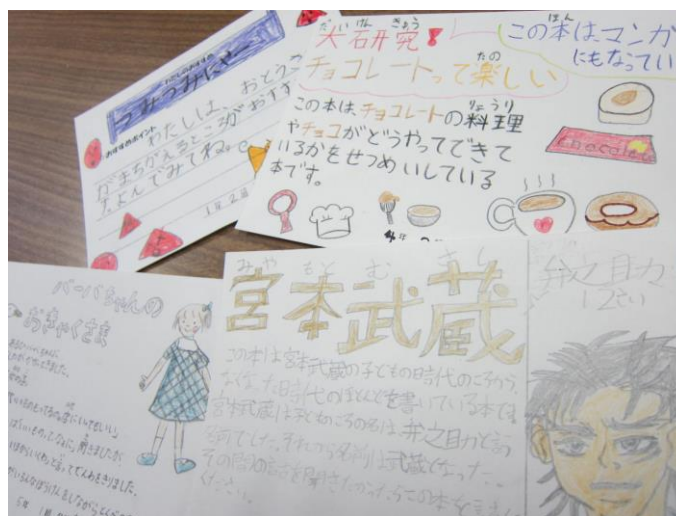
平成 29 年 10 月 24 日（火）～11 月 10 日（金）

実施内容

タイトル「本の魅力を見つけよう」

○読書紹介カードの取り組み（全校）

・授業で図書室へ行く時間を利用して、おすすめの本のポップカードを作る。
・出来上がったポップカードは、図書室前に展示する。
→友達が書いたポップカードを見て、自分が知らなかった本の魅力を発見し、色々な本を読んでみようという意欲につながるようにする。



○スタンプカード作り（図書委員会）

・図書委員会による企画で、本を読むとスタンプがもらえるカードを作成。
・全校児童にカードを配り、図書室に来てもらうように呼びかける。
→今まで、図書室に積極的に来ていなかった児童にも図書室に来てもらい、本を手にとって読んでみることで、知らなかった本のおもしろさを発見できるようにする。

児童生徒の様子

- ・ポップカード作りは、みんな熱心に取り組んでいた。
- ・掲示したポップカードを、じっくりと見る児童の姿が見られた。
- ・休み時間にスタンプカードを持って図書室に来る児童が何人か見られた。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

企画前は、休み時間に図書室に来る児童が少なかったが、企画を実施したことで図書室に来る児童が増えた。ポップカードを掲示していることで、本を選ぶ時の参考になっている姿も見られた。子どもたちの読書意欲が低下してきている中、読書意欲向上につながる企画を実施することができたと思う。

備考